

おおさき 市民活動だより

あなたのために
地域のために

みんなのために
社会のために

No.45

大崎市民活動サポートセンター
〒989-6162 大崎市長古川駅前大通 1-5-18
TEL.0229-22-2915 FAX.0229-22-9955
E-mail:npo@bz01.plala.or.jp



市民活動活性化のまちづくり

指定管理者 NPO 法人宮城マネジメント協会
会長 高澤 務

新年あけましておめでとうございます。

市民活動サポートセンターも市民活動活性化社会の確立をめざし、市民の自主的・自発的かつ営利を目的としない市民公益活動を総合的に支援する大崎市の公施設として、お陰様で12度目の春を迎えさせて頂きました。

これも偏に市民の皆様並びに市民活動団体の方々に市民活動サポートセンターをご利用頂きかつ講座・つどい等にも多数ご参加を頂く等の温かいご支援ご協力の結果であり心より感謝申し上げます。

特定非営利活動促進法（NPO法）は、特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること等により、市民の自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与することを目的に平成10年施行され、本年は20年の節目の年となります。この20年間NPO法人は常に「設立は容易だが継続が困難」と言われ続けてきました。NPO法人は経営体であり、「人・物・金・情報」等を主要素とする経営力の強化・充実が課題となっておりますが、現在全国で約52,000のNPO法人が活動しております。（2017.10：宮城県821、大崎市39法人）近年市民生活に寄り添う市民活動が注目されています。

その代表的な活動として、子どもが一人で気軽に利用できる食堂（名付け親の思い）「子ども食堂」が全国的にブーム化の様相を呈しております。子ども食堂活動の根底には、全国13.8%、宮城県15.3%の子ども貧困率（山形大：調査分析）があります。

週1回又は月2～3回、子ども無料、大人300～500円で食事を提供する活動で運営タイプとしては、A：子ども、母親、高齢者等、孤食者が気軽に利用できる「地域のふれあい場」タイプ、B：大学生のボランティア活動との提携による学習支援等「ケアタイプ」C：AB混合型タイプが一般的になっております。昨年11月に開催させて頂きました市民活動のつどいの「基調講演」として「せんだいこども食堂」の代表者を講師にお招きし「こどもの食を考える：今、地域でこどもたちの食をどう守っていくか」をテーマに貴重な講演を頂きました。なかなか表面化することのない・今後更に深刻化すると思われる子どもの貧困率や子ども食堂の重要性について「つどい」に参加された多くの市民の皆様方と共にその思いを新たにす機会となりました。

市民活動サポートセンターも本年は、開設12年目の節目の年です。これまでの歩みを礎に管理運営の充実に努め、市民活動団体の皆様との協働連携を図りながら、大崎市のめざす「市民活動活性化社会の確立」に向けその役割を果たしていきたいと考えております。

市民活動サポートセンター並びに市民活動団体に対し市民の皆様方のご支援ご協力を心よりお願い申し上げますと共に、市民の皆様にとって新年がより良き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

～空高く 飛躍の一年に～



NPO法人 スカイドリームおおさき

「スカイドリームおおさき」は昨年8月にNPOを設立しました。大崎地域内外の者を対象として熱気球の紹介や普及活動を通じてスカイスポーツの振興を図ると共に、広大で恵まれた自然環境を有する宮城県大崎地域を広く紹介し、地域の観光振興とまちづくりに寄与することを目的とします。

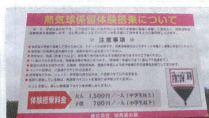
主な事業は、熱気球の普及・情報提供事業・熱気球の体験搭乗などです。

昨年9月からNPOとして事業を展開しています。田んぼに稲がある時期（春～秋）は、「池月道の駅」構内で『熱気球係留体験搭乗』を実施しています。夏休み期間中は一日120～130人もの利用者で賑わっていました。「子どもたちにたくさん触れ合い、熱気球の楽しさや普及活動ができた」と代表の道塚さんは話します。大きく膨らんだ熱気球はとても大きく人間が小さく見えます。上がる時のガスバーナーの光と音。熱気球ならではの眼下には広大なパノラマが展開します。

1月からフリーバルーンライドの遊覧飛行が楽しめます。

岩出山を出発し化女沼・蕪栗沼・伊豆沼の方へ時速20kの速度で1時間～1時間半かけて飛びます。当法人の代表である道塚さんは30年のキャリアを持つベテランです。地元の人たちの協力、支援も支えになっています。

今後はこの事業を定着し継続させ、地域活性化のために軌道にのせたいと夢も大きく膨らんでいます。



法人名：スカイドリームおおさき
代表者：道塚信市
設立：2017年8月
主な活動分野：まちづくり・観光

センター活動紹介 No.1

第12回「おおさき市民活動のつどい」

と き:平成29年11月26日(日)
と ころ:市民活動サポートセンター

第12回目の節目を迎えた今回は、内容を改めご参加の皆さんと一緒に情報を共有し、市民活動活性化に向けて取り組んでいくことを目的に開催いたしました。

第一部は「みんなで力を合わせ築こう市民活動活性化社会」をテーマに、3団体から各々の活動の現状・問題・課題が話され、未来へと繋げていくために市民活動の必要性を説いていました。

第二部のこども食堂の講演は、こどもたちの食は勿論のこと、そこに集まってくる人たちの人間模様が、現代社会を浮き彫りにし、こども食堂の活動によって、次世代を担う若者やこどもたちに勇気と生きる力が育まれていました。

第三部は初めての試みである体験見学で「篆刻・刻字」の作り方を皆さん大変興味深く見入っていました。また、交流会では、発表者の方々と直接面談したり、参加者同士の親睦を深め合いました。



▲NPO法人宮城マネジメント協会 会長 高澤務氏の挨拶



▲発表者と面談の様子



▲交流会の様子

《第一部 団体発表》

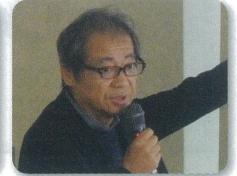
テーマ:『みんなで力を合わせ築こう市民活動活性化社会』



▲発表者:学びの庭 Hiro 代表:佐藤靖子氏



▲発表者:NPO法人 Synapse40 代表:千葉繁美氏



▲発表者:NPO法人田んぼ 代表:岩淵成紀氏

《第二部 講演》

講師:せんだいこども食堂代表 門間尚子氏

テーマ:『こどもたちの食を考える』
『今、地域でこどもたちの食をどう守っていくか』



▲講師:門間尚子氏



《第三部 交流会》

◆体験見学:『篆刻・刻字を楽しむ会』



▲NPO法人宮城マネジメント協会 サポートセンター事業委員会 委員長 高橋富雄氏の挨拶



▲挨拶をする 代表:高橋芳琴(ちづ)氏



篆刻・刻字の作品



▲作品制作の様子

センター活動紹介 No.2

支援講座「傾聴の仕方」

と き:平成29年9月16日(土)9:30~16:30
講師:キャリアコンサルタント 小原裕子氏



▲講師:小原裕子氏



▲講座の様子

傾聴を実際に体験する参加者たち

鳴子温泉地域・NPO懇談会

と き:平成29年9月28日(木)
会場:鳴子公民館



◀座長:NPO法人鬼首山学校協議会 副理事長 大沼幸男氏



▲懇談会の様子

◀東京大学温泉サークル OKR(おける) 作成のワカモノ温泉湯治チラシ

市民ミニ講座

と き:平成29年10月19日(木)
テーマ:セルフメディケーション時代を生きる
講師:NPO法人 ふあるま・ねっと・みやぎ 代表 戸田紘子氏(薬剤師)



◀講師:戸田紘子氏



▲熱心に聴き入る参加のみなさん!『健康食品についても詳しく話されました』

協業組合 アクアネット
代表理事 佐藤 政志
宮城県大崎市古川桜ノ目字新高谷地526
営業所/加美・仙台・石巻・黒川・登米
TEL 0229-28-3734

支援企業広告

日本料理 会席料理

旬味 中鉢
酒菜

古川東町3-46 古川商工会議所裏 中鉢ビル1F
TEL 0229-22-3102
FAX 0229-22-3436

支援企業広告

支援企業広告

OA機器・オフィス家具・文具事務用品

株式会社 **西巻**

本社・営業本部 宮城県大崎市古川休塚字南田62-1
TEL 0229-28-1116 FAX 0229-27-1165
http://www.kk-nishimaki.co.jp/

古川名物 ママも喜ぶ!!

パパ好み

株式会社 松倉 セル松倉株式会社
大崎市古川前田町4の6 Tel.0229(22)0259 http://www.papagonomi.com

◆がんばる市民活動団体◆ 活動団体紹介コーナー

NPO日記 No.26

団体名：NPO法人ユアパートナーおおさき
生活介護事業所「つばさ」
代表：山下 勝英
設立：2014年

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

当法人は、比較的障害の重い方々が、日中に過ごせる場を提供することにより、ご本人のみならず家族も安心して暮らすことができるようにし、また、障害者への支援を提供することを通じて、障害者と健常者の区別なく誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とし、障害者総合支援法による生活介護事業を運営しています。主な活動は、一年を通して作成しているちぎり絵によるカレンダー作り、古紙回収などです。古紙回収業ではないものの、高齢者の方々から喜ばれており利用者さんの社会参加を目標としている当法人にとって切り離せない活動になっています。

回収物を分別する作業や、古紙回収で得た工賃で買い物に行くことは、利用者さんの励みにもなっています。「障害をもっていても社会の一員として、外に出て活動することが大切」と代表の山下さんは話します。

現在は、旧古川市内を中心に栗原市などへ利用者さんの送迎を行っています。

今後は、NPOならではの活動を活かし、規模ではなく質を重視し、「私は、つばさに通っています。と胸を張って言える誇れるところになりたい」と山下勝英さんは抱負を語ります。(担当：鈴木)



▲作業の様子

ちぎり絵によるカレンダー

NPO法人 ハッピーート大崎

食文化交流事業 No.1 「宮城の食文化から学び伝えたいこと」
とき：平成29年9月7日(1日目) 10:00~12:30
場所：吉野作造記念館ラウンジ



◀講師：みやぎの食を伝える会
代表 中村みき子さん

食文化交流事業：4日間開催
No.2 ▶10月5日(木)、No.3 ▶11月2日(木)、No.4 ▶12月7日(木)

NPO法人 Synapse40

志誠塾「シニアのための自分活かし塾」
【一枚の自分史講座】in古川 とき：平成29年10月18日
講師：(一社)自分史活用推進協議会
自分史アドバイザー 千葉繁美氏



一枚の自分史とは
一枚の写真から
気軽に組み立て
500字程度の簡単
500字程度で簡
文楽しみます。な
作成できます。

市民活動団体催事訪問 (紙面の都合により5団体を紹介)

NPO法人 古川学人

吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会 基調講演

とき：平成29年9月8日(金)
●日本国憲法70年と明治憲法150年
講師：大石眞氏(京都大学名誉教授)
演題：「憲法改正論議と政局・政策論との間-比較憲法史から学ぶべきもの」



▲講師：大石眞氏

★参加大学

京都大学・慶応義塾大学・同志社大学
駒澤大学・新潟大学・東北大学



食育NPO「おむすび」

持続可能な地域づくりを 考えるフォーラム

とき：平成29年11月23日(木)
第2部：パネルディスカッション
○テーマ：食べること
○パネリスト：清水智子さん
(食育NPOおむすび代表)



「おむすび便り」を定期的に発行。いろんな人と繋がることの大切さを述べています。



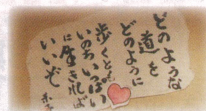
生き生きサポート「はまライン」

作品展

とき：平成29年11月24日(金)~26日(日)
会場：市民ギャラリー 緒絶の館



▲利用者作品



▲はまライン母の会



▲指導支援者作品

障がい者余暇活動支援等を行っている

おおさき HotPocketは

大崎地域の 情報 がわかる! 集まる! 発信できる!

大崎地域の人のための
大崎で商売する人のための
大崎を訪れる人のための
大崎を楽しむ人のための
地域コミュニティサイトです!

地域 No.1

掲載店舗数は地域 No.1!
約3,000件の基本情報を掲載
アクセスも地域 No.1を
目指します!

魅力充実

ますますボリュームアップ
大崎地域のイベント情報、
美味しい情報、
お役所情報、掲載数など
ほかコンテンツが充実

動画取材

写真はもちろん動画でお店を紹介
Hot Pocket オリジナルの
ドローンによる空撮映像や、
お役所情報など、コメン
タリーが盛りだくさん!
動画を見れば
一目瞭然



おおさき
ほっとほけっと
Hot Pocket

http://hotpocket.jp ほっとほけっと 検索

お問い合わせは：0229-23-7785 (岡崎印刷内)



岡崎印刷



総合広告代理店

AD Step アドステップ

おおさき HotPocket は大崎市古川「岡崎印刷」が母体となり3社による地域サポーターの協力で開催しています。

人材育成事業

NPO 入門講座

本講座は、NPO の基本講座と実際に活動されている NPO 法人の事例紹介を交えながら懇談し、NPO について学ぶ入門編です。
どなたでもご参加できます。

■第13期生修了■

●開催日：平成29年10月21日(土)



▲講師：NPO 法人鬼首山学校協議会 副理事長 大沼幸男氏



▲講師：NPO 法人ユアパートナー おおさき 理事長 山下勝英氏



▲講師：NPO 法人ハッピーート大崎 理事長 千島優子氏



講座受講の様子▶



▲懇談の様子

第13期生受講者の声 (抜粋)

本日のお話を聞いて御三人の活動が地道に広がっていると思いました。

特に鬼首山学校の 大沼さんがどんな活動を頑張っているかをよく聞けたのが良かったです。鬼首の一年間様々な風景の中で大崎の自然を体現できる事業の拡がりを期待します。

千島さんの活動は、食のプロの皆さんが活躍できるので多くの市民と関わりを持てる場がもっともっと増えていくことを願っています。今、「子ども食堂」という取り組みがありますが、大崎市の中で各地域に位置づけできるように先例を考えて頂くことを期待いたします。ユアパートナー おおさきの、一般の人が気付かない活動を形にしている山下さんの思いは、すごいことだと感じています。【S・Mさん】

編集後記

サポートセンターは、本年で開設 12 年目の節目の年となりました。また、「市民活動だより」は本号 No.45 号の発行を迎えることができました。

今号から誌面を一新し、気持ちも新たに市民活動団体の皆さんのお役に立てるよう、微力ながら情報発信に努めて参りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(鈴木)

NPO 運営講座

第20期生募集 (土コース)

- ◆日時：平成30年2月開催
- ◆場所：市民活動サポートセンター
- ◆内容：市民活動に必要な
 - ①関連法等の概要 ②団体の設立 ③労務管理
 - ④税務・会計管理 ⑤運営管理 ⑥事務局業務
- ◆定員：20名 (応募者多数の場合は先着順となります。)
- ◆テキスト代：3,000円
- ◆講師：公認会計士・特定社会保険労務士 他
- ◆申込方法：別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にて申込下さい。
- ◆申込先：大崎市市民活動サポートセンター TEL0229-22-2915 問合せ FAX0229-22-9955

この講座は、こんな方々にお薦めの講座です。

- 行政及び関連機関関係者
- 各種公益団体関係者
- 企業関係者
- 市民公益活動団体の代表者・事務局長及び今後市民活動に携わりたいことを希望している方

～市民活動のための施設です。気楽にご利用下さい。～

施設のごあんない

1 会議室 (3F・4F)

研修会・会議・講演会などの団体活動に利用できます。

- 収容人員
 - 小会議室 (4F)：約30名
 - 大会議室 (3F)：約70名
- 料金：250円 / 1 時間



2 交流フロア (4F)



市民活動団体の情報誌やイベントチラシ等の掲示をしています。人と情報が集まる場所です。打ち合わせや簡単な作業等に無料で利用できます。

3 事務ブース (4F)



1ヶ月3,000円で利用できます。(利用団体募集中)

4 書類保管庫 (4F)



1ヶ月200円で利用できます。(利用団体募集中)

- 5 印刷機 (4F) 用紙持参で1枚2円、紙代負担の場合は1枚4円で利用できます。
- コピー機 (4F) 白黒1枚10円、カラー1枚100円で利用できます。

大崎市市民活動サポートセンター 古川駅前ふるさとプラザ内

TEL0229-22-2915 FAX0229-22-9955

URL: <http://www.npo-oosaki.jp/>

E-mail: npo@bz01.plala.or.jp